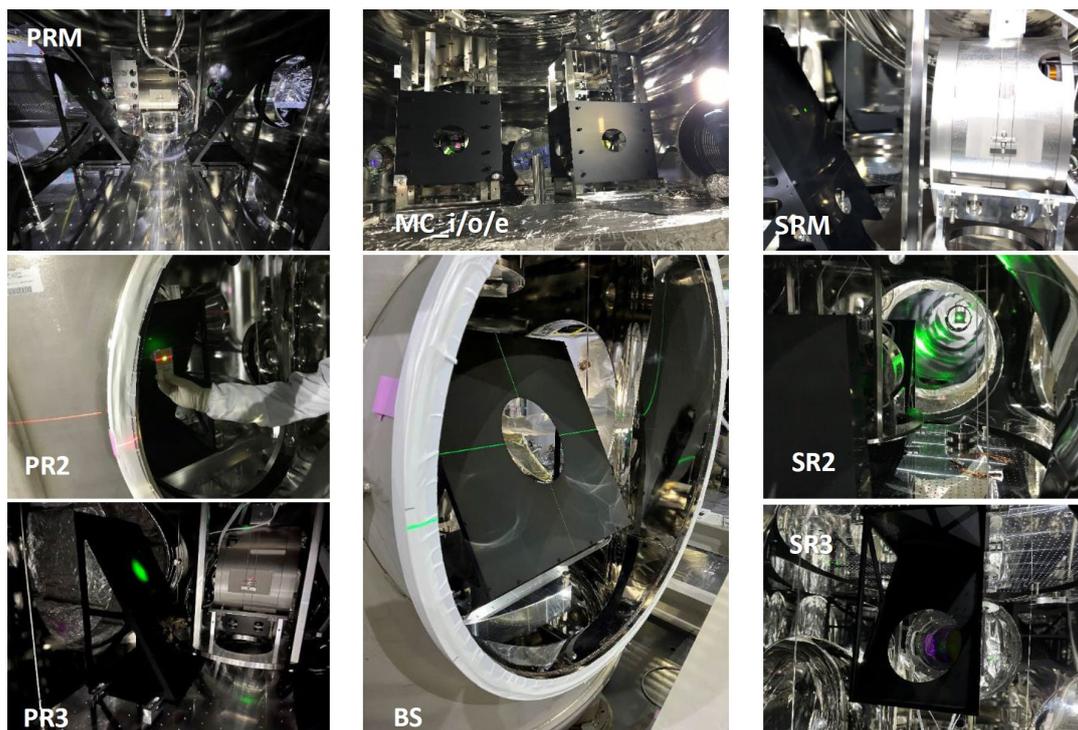


令和 4 年度 (2022) 共同利用研究・研究成果報告書

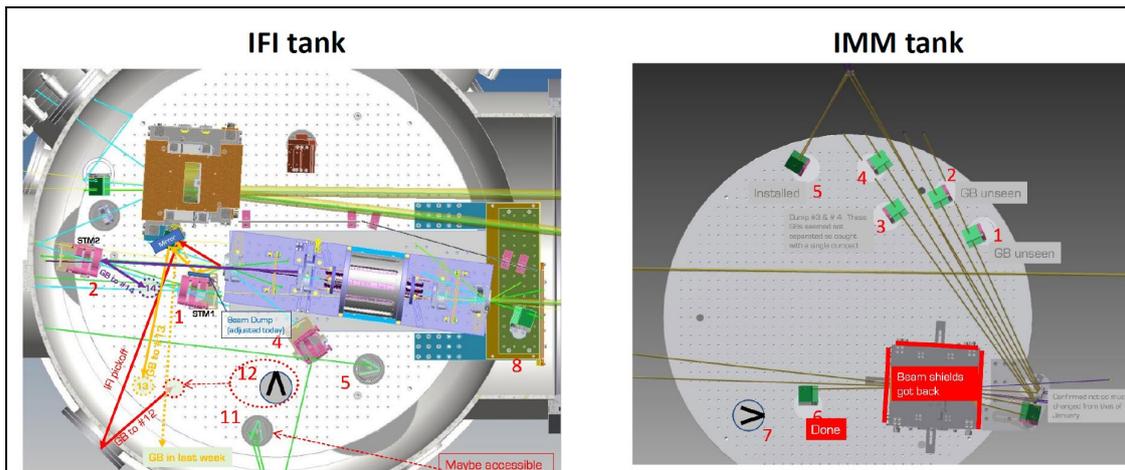
研究課題名 和文：重力波望遠鏡における電磁波散乱・伝搬シミュレーション X
英文：Numerical Simulation of Electro-Magnetic Wave Propagation in Gravitational wave Detector X

研究代表者 三代木伸二（東大宇宙線研）
参加研究者 大橋正健（東大宇宙線研）、内山隆（東大宇宙線研）、牛場崇文（東大宇宙線研）、木村誠宏（東大宇宙線研）、玉木諒秀（東京大学理学系研究科物理学専攻）、都丸隆之（国立天文台）、阿久津智忠（国立天文台）

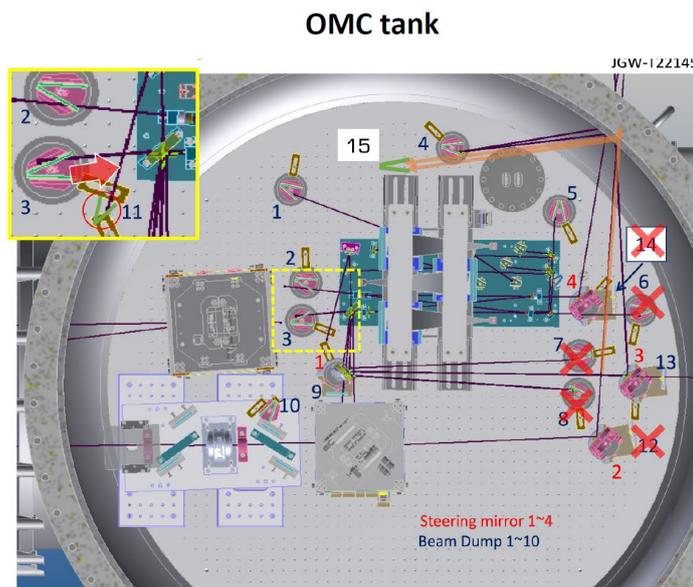
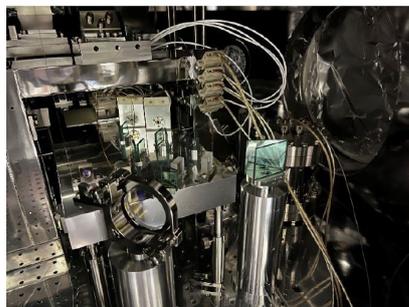
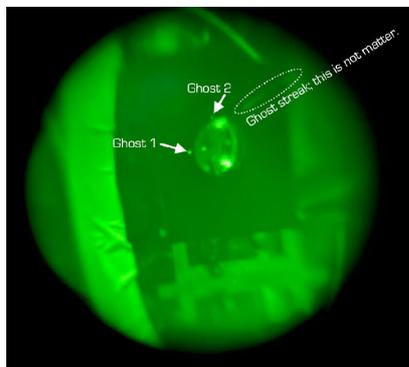
研究成果概要
光軸の厳密な確認の上、予定されていたすべての Mid-size Baffle をインストールし、MICH エリアの散乱光対策を完了した。さらに、主に IFI, IMM, OMC, OMM 真空タンク内光学系で発生する迷光、散乱光対策も完了した。



図：IMC、MICH エリアに設置された Mid-size Baffle



図：IFI、IMM エリアに設置された迷光、散乱光対策光学部品



図：OMC エリアに設置された迷光、散乱光対策光学部品